

驢馬のびつこ

新美南吉

青空文庫

張が かはい、驢馬を一匹 買ひました。ところが 歩かせて 見ると その 驢馬は びつこを ひくのです。

「なぜ びつこを ひくのだらう。」と 考へて 見ましたが わかりません。ちようど とほりかゝつた 物しりを よびとめて たづねて 見ると、物しりは、驢馬の からだ 體を よく しらべてから いひました。

「耳と 耳の 間に 錢ほどの 禿がある、この 禿に 風があたつて 寒いから びつこを ひくのぢや。帽子をつくつて かむせたが、よからう。」

やつぱり 物しりだけ あつて、利口な ことを いふと 張

は かんしんしながら、羊の 毛で 圓い 帽子を つくりまし
た。それを 驢馬の 頭にかむせて、さて 歩かせて 見ると
やつぱり びつこを ひきます。張は 物しりに だまされた
と思つて、まつかになつて 驢馬を ひつぱつて ゆきまし
た。

「人を だますにも ほどが ある。お前さんの いふとほり
帽子を かむせたが やつぱり びつこを ひくでは ないか。」
すると 物しりは おちついて、

「いや こんな 帽子では いかん、驢馬の 耳を おしこむの
で 耳が いたいのだや。」と いふのでした。なるほどと 思
つた 張は、家に かへつて 帽子に 二つの 穴を あけ、そ

こちら 二つの 耳を 出して やりました。ところが 歩かせ
て 見れば やつぱり びつこを ひきます。又 おこつて 物
しりの ところへ がなりこんで ゆくと、

「いや あれでは、耳が 寒いから いけない。」と いひます。
なるほど さうだつたと 思つて、こんどは、二つの 耳に 長
い 袋を かむせました。けれど びつこを ひくのは 前と
同じ ことです。いよいよ 物しりめ、わしを だましたなど
思つて、げんこつを ふりあげながら とびこんで ゆくと、物
しりは、

「まちなさい、お前さん とんまだね、あれぢや 耳が 聞えな
いぢや ないか。」と いひます。たしかに さうだ、と、張は

家にかへりましたが、こんどはどうしていゝのかさつぱりわかりません。袋に穴をあければ風がはいつて寒いでせうし——。

張は十日も二十日もろくろくご飯もたべず考へましたが、よい考へはうかびません。ある日とほりかゝつた村人をとらへて、

「この驢馬の耳が聞えるやうにするにはどうしたらえゝでせうな。」と きゝますと、その人は、

「なんでもないよ、帽子をとつてやりなさい。」とこたへました。

「こいつは名案だ。」と叫んで、張は帽子をとつてす

てました。そして、驢馬の 耳に 口を つけて、

「驢馬 やーい。」と となりました。すると 驢馬は くすぐ
つたくて、耳を 二三度 ぴくぴく させました。張は それを
見て、

「やあ 聞える 聞える。」と よろこんで おどりあがりまし
た。

青空文庫情報

底本：「校定 新美南吉全集第四巻」大日本図書

1980（昭和55）年9月30日初版第1刷発行

1987年（昭和62）年2月15日第3刷発行

初出：「きつねの おつかい」福地書店

1948（昭和23）年12月5日

入力：高松理恵美

校正：川向直樹

2005年3月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.azora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

驢馬の びつこ

新美南吉

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>